

授業科目	* 臨床栄養学実習 I (A クラス)				単位	1		
履 修	必修	関連資格	栄養士 管理栄養士 栄教一種免		ナンバリング	NT22105J		
開講年次	3 年	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP2-1 DP5-1			
担当教員	南里 宏樹、高崎 智子							
授業概要	<p>管理栄養士が医療の現場において、また一般の集団や個人を対象に、栄養管理・栄養指導を行う場合、対象者の栄養状態および健康状態を把握した上で、栄養管理や指導内容を設定することが重要である。本実習では、栄養状態および健康状態を把握するために必要な生理・生化学的指標を実際に測定し、その指標の生理的および病理的意義について解説する。加えて、医療スタッフとしての管理栄養士を目指すために、基本的な医療面接、身体診察法などを学び、医療現場の実際を体験させる。</p> <p>オムニバス形式の授業のため、南里、新任教員の日程を変更することがあるので、その際は前もって授業中に連絡する。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 栄養評価に必要な様々な生理・生化学的指標を実際に測定し、その栄養評価上の意義を説明できる。</li> <li>2. 健康状態を把握するために必要な面接法、診察法を体験する。</li> <li>3. 臨床検査や一次救命救急を理解し、病気の診断・治療を考察できる。</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	40	0	40	0	0	20	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)	20		20			5	45	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	20		20			5	45	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)						10	10	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
標準的レベル 1～3 を全て達成した上で、 4. 他の保健・医療従事者との連携・協働する方法を説明できる。				<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 栄養評価に必要な様々な生理・生化学的指標を実際に測定し、その栄養評価上の意義を説明できる。</li> <li>2. 健康状態を把握するために必要な面接法、診察法を体験する。</li> <li>3. 臨床検査や一次救命救急を理解し、病気の診断・治療を考察できる。</li> </ol>				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間

				(分)
1	テーマ:オリエンテーション(南里 新任教員) 臨床栄養学実習のスケジュール、内容、レポート作成について、説明する。	プリント資料を使い、次回から行う実習について、説明する。	予習:なし 復習:配布したプリント及び書き込んだ内容を読んで、実習に備える。	0 30
2	テーマ:血糖測定(南里) 酵素法および自己血糖測定器を用いた血糖の測定について実習する。	酵素法および自己血糖測定器を用いた血糖の測定を行い、レポートを作成する。	予習:1、2年時の教科書、配布プリントを読み、実習内容・方法を理解する。 復習:実習の結果および作成したレポートを確認し、実習の意義を理解する。	30 30
3	テーマ:75g 糖負荷試験(新任) 75g 糖負荷試験を実施し、その結果の解釈について解説する。	75g 糖負荷試験を実施し、その結果の血糖曲線を作成し、レポートを提出する。	予習:1、2年時の教科書、配布プリントを読み、実習内容・方法を理解する。 復習:実習の結果および作成したレポートを確認し、実習の意義を理解する。	30 30
4	テーマ:症例検討1(新任) モデル症例を呈示し、診断・治療法(食事療法を含めて)について検討・討議する。	モデル症例を呈示し、診断・治療法について討議し、その解釈について講義する。	予習:1、2年時の教科書、配布プリントを読み、実習内容・方法を理解する。 復習:実習の結果および作成したレポートを確認し、実習の意義を理解する。	30 30
5	テーマ:コレステロール・中性脂肪(南里) コレステロール・中性脂肪を測定し、脂質代謝異常における意義について解説する。	血中コレステロール・中性脂肪を測定し、脂質代謝異常に関する課題について考察する。	予習:1、2年時の教科書、配布プリントを読み、実習内容・方法を理解する。 復習:実習の結果および作成したレポートを確認し、実習の意義を理解する。	30 30
6	テーマ:尿素窒素・クレアチニン(南里) 尿素窒素・クレアチニンを測定し、蛋白質代謝、腎機能異常における意義について解説する。	尿中尿素窒素・クレアチニンを測定し、蛋白質代謝、腎機能異常に関する課題について考察する。	予習:1、2年時の教科書、配布プリントを読み、実習内容・方法を理解する。 復習:実習の結果および作成したレポートを確認し、実習の意義を理解する。	30 30
7	テーマ:AST/ALT 活性(南里) AST/ALT 活性を測定し、その異常値の解釈について解説する。	AST/ALT 活性を測定し、その異常値の意義について考察する。	予習:1、2年時の教科書、配布プリントを読み、実習内容・方法を理解する。 復習:実習の結果および作成したレポートを確認し、実習の意義を理解する。	30 30
8	テーマ:赤血球数・ヘモグロビン濃度(南里) 赤血球数・ヘモグロビン濃度を測定し、その異常値の解釈について解説する。	血中の赤血球数・ヘモグロビン濃度を測定し、その異常値の意義について考察する。	予習:1、2年時の教科書、配布プリントを読み、実習内容・方法を理解する。 復習:実習の結果および作成したレポートを確認し、実習の意義を理解する。	30 30
9	テーマ:運動と乳酸・エネルギー消費量の測定(南里) 安静時および運動時のエネルギー消費を間接熱量計で測定し、同時に血中の乳酸の変化を測定する。	安静時および運動時のエネルギー消費と血中の乳酸の変化を測定し、その結果の解釈について考察する。	予習:1、2年時の教科書、配布プリントを読み、症例の病態を理解する。 復習:症例検討会で作成したレポートの内容を確認する。	30 30

10	テーマ:身体診察所見の取り方(新任) 身体診察所見取り方、器具の使い方を解説し、実習する。	身体診察所見取り方、器具の使い方を解説した後、身体診察を実際に体験する。	予習:1、2年時の教科書、配布プリントを読み、実習内容・方法を理解する。 復習:実習の結果および作成したレポートを確認し、実習の意義を理解する。	30 30
11	テーマ:臨床心電図実習(新任) 12誘導心電図の検査法、読み方、運動負荷心電図を解説し、実習する。	12誘導心電図の検査法、読み方を解説した後、心電図測定を実際に体験する。	予習:1、2年時の教科書、配布プリントを読み、実習内容・方法を理解する。 復習:実習の結果および作成したレポートを確認し、実習の意義を理解する。	30 30
12	テーマ:救命救急法(新任) 救命救急法、AEDの取り扱い方を解説し、実習する。	救命救急法、AEDの取り扱い方を解説した後、実際に救命救急法を体験する。	予習:1、2年時の教科書、配布プリントを読み、実習内容・方法を理解する。 復習:実習の結果および作成したレポートを確認し、実習の意義を理解する。	30 30
13	テーマ:症例検討2(新任) モデル症例を呈示し、診断・治療法(食事療法を含めて)について検討・討議する。	モデル症例を呈示し、診断・治療法について討議し、その解釈について講義する。	予習:1、2年時の教科書、配布プリントを読み、実習内容・方法を理解する。 復習:実習の結果および作成したレポートを確認し、実習の意義を理解する。	30 30
14	テーマ:実習のまとめ(新任) 田川担当分の実習のまとめをする。	田川担当分の実習のまとめを行い、その内容について確認テストを行う。	予習:いままでの実習を復習し、実習内容を理解する。 復習:実習の結果および作成したレポートを確認し、実習の意義を理解する。	30 30
15	テーマ:実習のまとめ(南里) 南里担当分の実習のまとめをする。	南里担当分の実習のまとめを行い、各実習の意義について講義する。	予習:いままでの実習を復習し、実習内容を理解する。 復習:実習の結果および作成したレポートを確認し、実習の意義を理解する。	30 30
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				

28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	臨床栄養学実習1はこれまで学んできた解剖生理学、生化学、病理学、基礎栄養学、疾病診断治療学Ⅰ・Ⅱを基に、管理栄養士として必要な基礎・臨床医学の実習を行う。したがって、これらの科目を理解しておくことが必要である。			
テキスト	1、2年生で使用した病理学、疾病診断治療学Ⅰ・Ⅱ、基礎栄養学の教科書を使用する。 「看護・栄養指導のための臨床検査ハンドブック 第5版」奈良信雄著(医歯薬出版)			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	教材：各テーマについて、実習内容・方法をプリントして配布する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. レポートをしっかりとめる。</li> <li>2. 教科書やレポートからサブノートを作る。</li> <li>3. 理解できないことを図書館やインターネットで調べる。</li> </ol>			
達成度評価に関するコメント	試験及びレポートの内容については、授業の中で指示する。			